

1 学校運営の中期目標

- 他を思いやる豊かな心持ち、豊富な知識と思考力をもって生きぬく力を育む。
- 一人ひとりの子どもの将来の自立に必要な力を育む。
- 国際社会において力強く生きぬく基礎を育む。

1 子どもの自立に必要な力の育成（カリキュラム・グローバル化改革関連）

【視点 学力の向上】

- ・全国学力・学習状況調査の結果から、卒業までに基礎的・基本的な学習が定着したと認められる児童の割合を、平成 24 年度の水準増やす。（カリキュラム改革関連）
- ・言語力や論理的思考能力の育成のため、全ての教科・道徳において 6 年間を見通した言語活動の充実を図る実践的な指導の計画を図る。（カリキュラム改革関連）
- ・3 年～6 年の国語、算数、理科において、個々の児童の習熟度の程度に応じた少人数授業の実施をします。（カリキュラム改革関連）
- ・英語教育の強化を図るため、全学年 27 年度に向けて年度ごと順次指導を実施します。（グローバル化改革関連）

【視点 道徳心・社会性の育成】

- ・人権を尊重する教育の推進をします。（カリキュラム・グローバル化改革関連）
- ・学校で認知した「いじめ」について、解消に向け対応している割合を 100%にします。（グローバル化改革関連）
- ・不登校の児童の割合を全国平均以下にします。（グローバル化改革関連）
- ・学校で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をした割合を 100%にします。（グローバル化改革関連）
- ・防災に関する授業を年間 2 時間以上実施し、また安全（防犯）教育も推進します。（グローバル化改革関連）

【視点 健康・体力の保持増進】

- ・全国体力・運動能力、運動習慣等調査の各種目の結果を全国平均以上にします。
- ・全国学力・学習状況調査の「朝食を食べていますか」の項目について、「食べていない」と答える児童の割合を全国平均以下にします。（カリキュラム改革関連）

【視点 特別支援教育の充実】

- ・障がいのある全ての子どもの「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、個別の指導計画に基づき指導します。（カリキュラム改革関連）
- ・障がいのある子と通常学級の子どもの協働に成長する教育を推進する。（カリキュラム改革関連）

2 学校教育の質の向上（マネジメント改革関連）

【視点 学校の活性化】

- ・検証・改善サイクル（PDCA）の充実を図ります。（マネジメント改革関連）
- ・安全、安心、良好な教育環境の確保を図ります。（マネジメント改革関連）

【視点 教職員の資質・能力の向上】

- ・授業研究を伴う校内研修の充実を図る。（マネジメント改革関連）
- ・教育実践のイノベーションにつながる研究の推進をします。（マネジメント改革関連）

3 地域が協働する仕組みづくりと生涯学習の支援（ガバナンス、学校サポート改革関連）

【視点 学校・家庭・地域の連携の推進】

- ・開かれた学校運営の推進をします。（ガバナンス改革関連）
- ・登下校時の子どもの安全確保をします。（学校サポート改革関連）

- ・家庭教育や子育ての情報提供や学習支援をします。(学校サポート改革関連)
- ・産業界との連携と学習資源の有効活用をします。(学校サポート改革関連)

2 中期目標の達成に向けた年度目標

1 子どもの自立に必要な力の育成(カリキュラム・グローバル化改革関連)

【視点 学力の向上】

- ① 「平成 26 年度全国学力・学習状況調査」の結果で、特に「国語・B問題」の無解答率を平成 24 年度の結果より 10%減らす。(カリキュラム改革関連)
- ② 全学年の全ての教科において言語活動を通じた授業の単元数を 10%増やします。(カリキュラム改革関連)
- ③ 3 年～6 年の国語、算数、理科において、個々の児童の習熟度の程度に応じた少人数授業の実施をします。(カリキュラム改革関連)
- ④ 英語教育の強化を図るため、平成 25 年度 5・6 年、平成 26 年度 3・4・5・6 年 27 年度全学年順次指導を実施します。(グローバル化改革関連)

【視点 道徳心・社会性の育成】

- ① 道徳の時間を充実するため 100%実施します。(カリキュラム・グローバル化改革関連)
- ② 学校で認知した「いじめ」について、解消に向け対応している割合を 100%にします。(グローバル化改革関連)
- ③ 不登校の児童の割合を全国平均以下にします。(グローバル化改革関連)
- ④ 学校で把握した児童虐待の個々のケースについて、必要な対応をした割合を 100%にします。(グローバル化改革関連)
- ⑤ 防災に関する授業を年間 2 時間以上実施し、また安全(防犯)教育も推進します。(グローバル化改革関連)

【視点 健康・体力の保持増進】

- ① 全国体力・運動能力、運動習慣等調査の各種目の結果を全国平均以上にします。(カリキュラム改革関連)
- ② 全国学力・学習状況調査の「朝食を食べていますか」の項目について、「食べていない」と答える児童の割合を全国平均以下にします。(グローバル化改革関連)

【視点 特別支援教育の充実】

- ① 障がいのある全ての子どもの「個別的教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、個別の指導計画に基づき指導します。(カリキュラム改革関連)
- ② 障がいのある子と通常学級の子どもの協働に成長する教育を推進する。(カリキュラム改革関連)

2 学校教育の質の向上(マネジメント改革関連)

【視点 学校の活性化】

- ① 検証・改善サイクル(PDCA)の充実を図ります。
- ② 安全(防犯)、避難訓練(防災)、の指導を学期に 1 回実施します。

【視点 教職員の資質・能力の向上】

- ① 授業研究を伴う校内研修を年間 3 回以上実施する。
- ② 教育実践のイノベーションにつながる研究の推進を図るため研究検証・分析し、その結果をまとめ発表します。

3 地域が協働する仕組みづくりと生涯学習の支援(ガバナンス、学校サポート改革関連)

【視点 学校・家庭・地域の連携の推進】

- ① 土曜日授業の実施を学期に 1 回実施します。

- ② 就業日は地域・PTAの見守る隊による登下校時の子どもの安全確保を実施します。
- ③ 家庭学習の支援を実施します。(ステップアップ)
- ④ 産業界との連携と学習資源の有効活用するために高学年にキャリア教育を実施します。

3 本年度の自己評価結果の総括

1 子どもの自立に必要な力の育成（カリキュラム・グローバル化改革関連）

【視点 学力の向上】

平成 26 年度全国学力・学習状況調査」の結果で、伸びた項目もあったが、国語・算数ともに大阪市の正答率平均を下回った。英語教育の強化を図るため、平成 25 年度 5・6 年、実施してきた。

※言語活動を通して、思考力の向上に努める。

【視点 道徳心・社会性の育成】

道徳教育を充実するために道徳の時間を 100%実施した。学校生活で一部の子どもたちの「いじめ」の解決につながる道徳的実践はあまり見ることができなかった。防災教育について計画的に実施できたが、防犯教育は不十分であった。

※いじめ・不登校を起こさない、許さない教育が大切で安心・安全学校づくりに向けて取り組む。

【視点 健康・体力の保持増進】

全国体力・運動能力、運動習慣等調査の各種目の結果を全国平均より下回っているのが多かったが、男子の握力・50m走と女子の握力・ソフトボール投げが上回っていた。

※「朝食を食べる子」が増えてきた。今後増やしていきたい。

【視点 特別支援教育の充実】

障がいのある全ての子どもの「個別的教育支援計画」と「個別の指導計画」を作成し、個別の指導計画に基づき指導した。障がいのある子と通常学級の子どもの協働に成長する教育を推進した。

※さらに特別支援教育を推進したい。

2 学校教育の質の向上（マネジメント改革関連）

【視点 学校の活性化】

検証・改善サイクル（PDCA）の充実を図った。安全（防犯）、避難訓練（防災）、の指導を学期に 1 回実施した。

※学校と地域が共に活性化するように努めたい。

【視点 教職員の資質・能力の向上】

授業研究を伴う校内研修を年間 3 回以上実施した。教育実践のイノベーションにつながる研究の推進を図るため研究検証・分析し、その結果をまとめ発表した。

※教育実践を中心とした資質向上を図りたい。

3 地域が協働する仕組みづくりと生涯学習の支援（ガバナンス、学校サポート改革関連）

【視点 学校・家庭・地域の連携の推進】

土曜日授業の実施を学期に 1 回実施した。就業日は地域・PTAの見守る隊による下校時の子どもの安全確保を実施した。また家庭学習の支援を実施した。産業界との連携と学習資源の有効活用するために高学年にキャリア教育を体験的にとらえさせるためにキッズザニアへ卒業遠足を実施した。

※今後も実施したい。